

令和8(2026)年度 学部 受入れ不可科目一覧

「※別紙参照」と記載している学科等についてはそれぞれ別紙のとおりです。

英語圏言語文化コースと音楽表現コースは『受入可』の科目を記載しておりますので、ご注意ください。

《文教育学部》

学科・コース		科目名	学科・コース		科目名	
人文科学科	哲学・倫理学・美術史	哲学研究指導 A・B・C	芸術・表現行動学科	舞踊教育学	モダンダンステクニック(初級)	
		倫理学研究指導 A			モダンダンス・テクニック(中級) I	
		美術史学研究指導 III			モダンダンス・テクニック(中級) II	
	地理学	地理学フィールドワーク演習			モダンダンス・テクニック(上級)	
		地理学フィールドワーク A			舞踊創作法実習(舞踊構成法)	
		自然地理学フィールドワーク			舞踊創作法実習(即興制作)	
		人文地理学フィールドワーク			舞踊創作法実習(舞踊上演・制作)	
		地理学フィールドワーク B			民族舞踊実習(基礎)	
		地理学フィールドワーク			民族舞踊実習(発展)	
		デザイン思考とロジックモデル			舞踊教育法実習(初等教育)	
言語文化学科	日本語・日本文学	演習科目及び研究指導			音楽表現	※別紙参照
	中国語圏言語文化	中国現代文化特別演習				舞踊教育法実習(中等教育)
		中国現代語学特別演習				舞踊上演法実習(各級)
		中国古典文献特別演習				舞踊表現技法実習
		中国古典文学特別演習				陸上競技
	英語圏言語文化	※別紙参照				器械体操
	日本語教育	日本語教育法演習 I				日本舞踊実習
		日本語教育法演習 II				バレエ実習
		日本語教育法演習 III				水泳実習
	人間社会科学科	社会学		卒業論文		グローバル文化学環
社会学研究指導 I			平和構築論 II(1)・(2)			
社会学研究指導 II			文化変動論 II			
教育科学		教育科学研究指導 I	グローバル化と言語教育 II			
		教育科学研究指導 II	文化と人間関係 II			
		学校インターンシップ	実習科目全般			
子ども学		子ども学研究指導 I	グローバル文化学方法論			
		子ども学研究指導 II	グローバル文化学特論			
		卒業論文	卒業研究			
		子ども学選択基礎				
		子ども学フィールドワーク				
		子ども学インターンシップ				

《理学部》

学科	科目名
数学科	数 学 講 究
	数 学 輪 講
化学科	特 別 研 究 I
	特 別 研 究 II
	実 験 科 目 は 不 可
生物学科	特 別 研 究 I
	特 別 研 究 II
	生 物 学 演 習 I
	生 物 学 演 習 II
	生 物 学 外 書 講 読
	生 物 学 研 究 基 礎
	生 物 学 研 究 基 礎 演 習
情報科学科	演 習 ・ 実 習 科 目 は 不 可

《資格関係》

資格名	科目名
教員免許状(全校種・全教科)	教 育 実 習
〃	事 前 ・ 事 後 指 導
〃	教 職 実 践 演 習
学芸員(博物館)	博 物 館 実 習

《共創工学部》

学科	科目名
文化情報工学科	デ ザ イン 思 考 と ロ ジ ッ ク モ デ ル
	文 化 情 報 工 学 基 礎 演 習

《生活科学部》

学科	講座	科目名
食物栄養学科		「基礎有機化学」「食物学概論」以外不可
人間生活学科	生活社会科学	演 習 ・ 実 習 科 目 は 不 可
	生活文化学	服 飾 文 化 実 習 ※ 服 飾 制 作 実 習 ※ 被 服 製 作 実 習
心理学科		心 理 学 基 礎 演 習
		心 理 統 計 法 (心 理 学 統 計 法)
		心 理 学 基 礎 実 験 演 習 (心 理 学 実 験)
		心 理 学 基 礎 実 践 演 習 (心 理 学 演 習)
		心 理 学 実 践 演 習 : 質 問 紙 法
		心 理 学 実 践 演 習 : 質 的 研 究 法
		心 理 実 習 I
		心 理 実 習 II
		心 理 臨 床 ア セ ス メ ン ト (心 理 的 ア セ ス メ ン ト)
		心 理 臨 床 に 関 す る 法 と 制 度 (関 係 行 政 論)
		心 理 職 の 職 業 倫 理 (公 認 心 理 師 の 職 責)
		心 理 学 専 門 英 語

※「服飾制作実習」及び「被服製作実習」は、資格取得のための科目等履修ならば受入れを許可します。

注1) 上記に記載がない場合でも、論文執筆のための研究指導やゼミと、卒業論文及び特別研究などは受入れができません。

注2) 記載の無い科目であっても必ず履修が認められるとは限りません。

注3) 非常勤講師が担当している科目の場合は、履修が認められない可能性があります。
授業担当教員が常勤か非常勤かわからない場合は、正規外学生担当に問い合わせをしてください。

※英語圏言語文化コースと音楽表現コースは以下の科目に限り受け入れます。

1.英語圏言語文化コース 正規外学生受入れ科目一覧

英語圏言語文化コースの開講クラスについて科目等履修生・聴講生として履修・聴講を希望される方は、「科目等履修生・聴講生履修希望届」用紙を記入の上、前期は2月2日(月)、後期は6月29日(月)までに英文研究室(engjosyu@cc.ocha.ac.jp)に提出してください。(ファックス・郵便・電子メールでも結構です。また、英文研究室が閉室している場合は、学務課(学生センター棟1階)に英文研究室宛であることを伝えて、預けてください。)英文研究室で面接の上、履修・聴講を認めるか判断します。面接日時は、後日連絡します。

科目等履修生・聴講生を受け入れる用意のある英語圏言語文化コースの科目は以下に挙げた科目です。文教育学部時間割には*が付いていますので、確認してください。教員名の後に▲が付いている科目については受講条件がありますので、学務課及び大学ホームページにおいて閲覧可能な「開講科目の内容」で確認してください。聴講生の場合は受講条件を満たす必要は必ずしもありませんが、考慮に入れて希望するクラスを決めてください。

英文学特殊講義Ⅰ[前期]	新居達也教員
英文学特殊講義Ⅲ[後期]	未定
英文学特殊講義Ⅴ[後期]	丸谷徳嗣教員
英文学特殊講義Ⅷ[前期]	高桑晴子教員
英語学特殊講義Ⅲ[前期]	水野輝之教員▲
英語学特殊講義Ⅴ[前期]	中西公子教員▲
英語学特殊講義Ⅳ[後期]	野口徹教員▲
英語学特殊講義Ⅷ[後期]	山腰京子教員▲
英文学史Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	新居達也教員
英文学史Ⅱ[後期]	未定
米文学史Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	丸谷徳嗣教員
米文学史Ⅱ[後期]	丸谷徳嗣教員
英文法Ⅰ(1)(2)[1・2学期]	水野輝之教員
英文法Ⅱ[後期]	水野輝之教員
英語学入門(1)(2)[1・2学期]	山腰京子教員▲
英文法演習[後期]	野口徹教員▲
英語学概論[後期]	水野輝之教員▲
英語音声学演習[前期]	アレン教員
英語圏事情(1)(2)[1・2学期]	ロウ教員
英米文学演習(初級)[前期]	高桑晴子教員
英会話演習(初級)[前期]	ロウ教員▲
英会話演習(中級)[後期]	アレン教員▲

英語圏言語文化コース
科目等履修生・聴講生履修希望届

【出願内容】 科目等履修生 ・ 聴講生 (どちらかに○をつけてください)

フリガナ

氏名 _____

連絡先 [住所] _____

[TEL] _____

[E-mail] _____

履修・聴講を希望する科目・教員名

履修・聴講を希望する理由

高等学校以降の学歴 (学校名／専攻／入学・卒業年度)

受付日

音楽表現コース 正規外生受入れ科目一覧

※履修を希望する場合は、事前に担当教員の許可を得てください。

連絡先:音楽表現コース助手室(文教2号館108室)

科目名	単位数	履修年次	教員名	開講学期	受入可否
西洋音楽史Ⅰ	2	Ⅰ	井上 登喜子	後期	○
西洋音楽史Ⅱ	2	Ⅱ	山下 暁子	前期	○
民族音楽学	2	Ⅲ・Ⅳ	増野 亜子	前期	○
ピアノレパートリー研究 BI(1)・(2)	2	Ⅱ～Ⅳ	小坂 圭太	前期	○
ピアノレパートリー研究 BII(1)・(2)	2	Ⅱ～Ⅳ	小坂 圭太	後期	○
日本音楽史概論	2	Ⅰ	福田 千絵	後期	○
音楽学概論	2	Ⅰ	井上 登喜子	前期	○
現代音楽Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	神保 夏子	後期	○
現代音楽Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	神保 夏子	前期	○

※上記以外の科目については受入れできません。